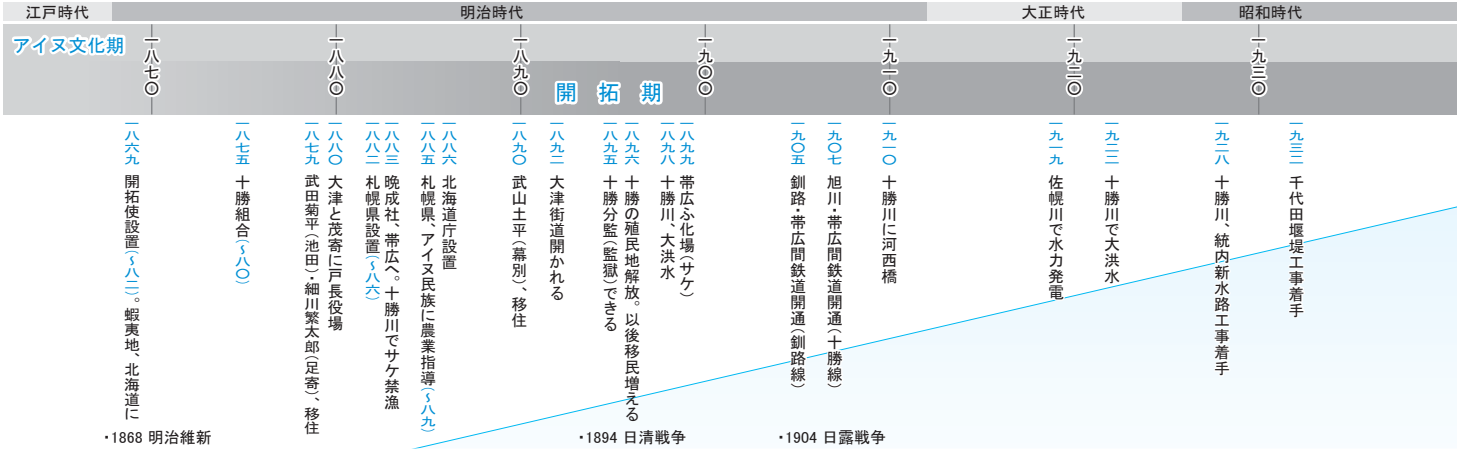


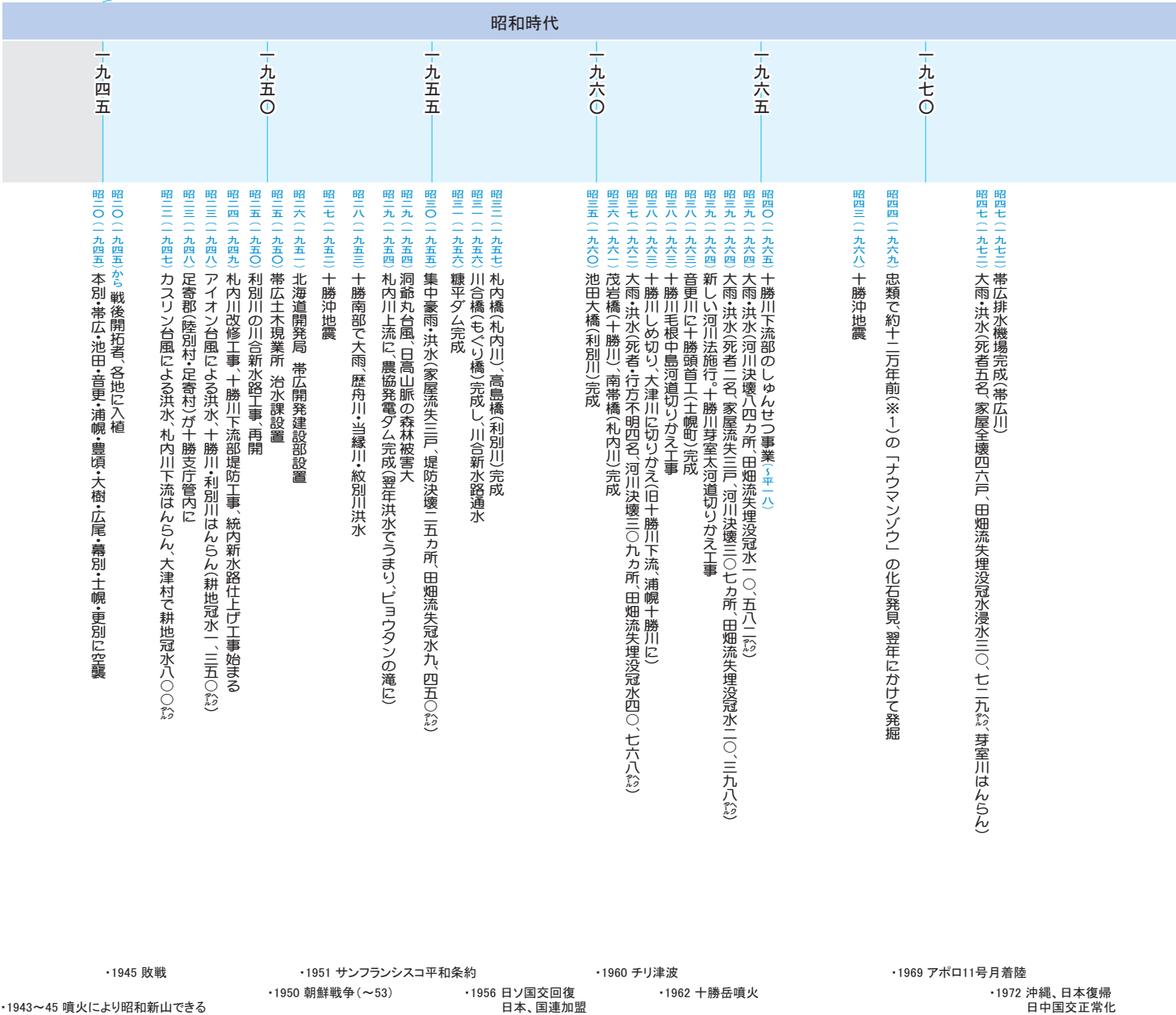
戦後の「川」年表

戦争に敗れた日本は混乱しますが、^{こんらん}だんだんと立ち直っていきま
す。それに合わせて、^{せいび}十勝の川も整備が進められていきます。

明治時代(1868)から2007年までの年表



昭和20年(1945)から平成19年(2007)までの年表



第1章 十勝の平野と川ができたのは

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

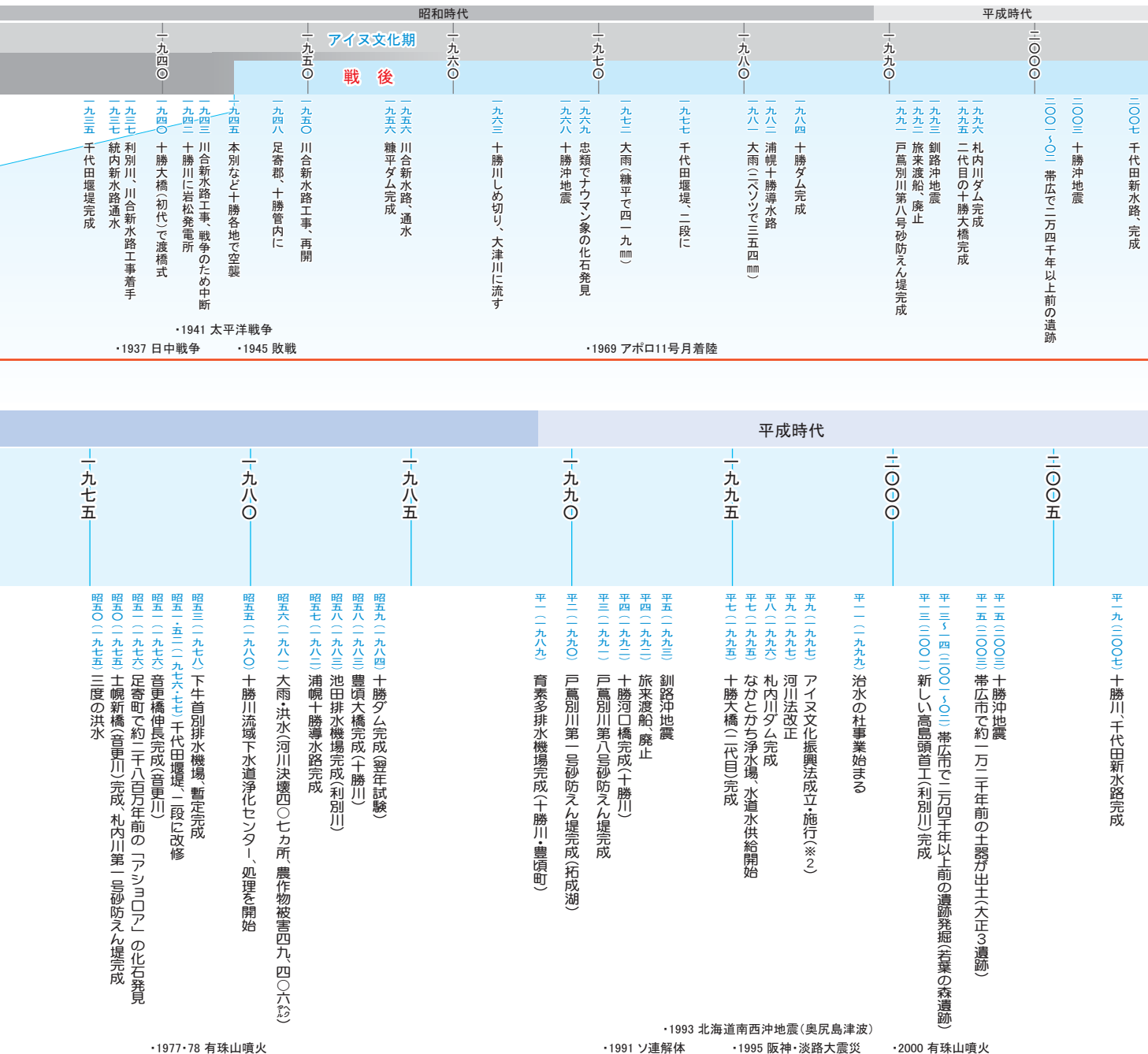
第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語

さくせん

※1 12万年前(12まんねんまえ)：忠類ナウマンゾウの年代については、もう少し古いという考え、あるいは、ひとつ前の間氷期(かんびょうき)であるミンデルーリス間氷期(約40万~20万年前)だという考えもある。



第1章 十勝の平野や川ができたころまで

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

川を管理するための法律 … 河川法

川をどのように管理し、利用するかについては、「河川法」という法律によって定められています。

最初の河川法(旧河川法)は、明治29年(1896)に制定されました。この法律では、「水害を防ぐこと(治水)」に重点が置かれていました。その後、とくに発電用水や水道用水、工業用水に川の水が利用されるようになると、この法律では間に合わなくなりました。

そこで、昭和39年(1964)に新しい河川法(新河川法)が制定され、「水の利用(利水)」と治水がうまくおこなわれるように、ルールが定められました。

さらに、平成9年(1997)には、自然環境や人が親しめる水辺空間を大切にしていこう、という考えの広まりに合わせ改正されました。治水、利水のほか、新たに「川の環境を守ること」が目的とされるようになったのです。

※2 アイヌ文化振興法(アイヌぶんかしんこうほう)：正式名称は「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓蒙に関する法律」。

用語
さくいん